

「ハインリッヒの法則」



ヒヤリ・ハット

重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例。文字通り、突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの。

ハインリッヒの法則とは、「1の重大災害の下には、29の軽症事故があり、その下には300のヒヤリ・ハット()がある」ということです。

システム開発にとって単体テストをきちんとすることは、ヒヤリ・ハットとは異なりますが小さい障害が潰せない、大きな障害に繋がりがやすいという意味では同じだと考えています。

確かに、システム開発の中では一番退屈で効率の悪い作業の一つかもしれません。それでも単体テストが、どれだけ出来ているか、結合テストの前にどれだけ小さなバグを潰せるか、というのが一つの技術レベルの証だともいえるのです。

単体テストはプログラマ本人の自己責任にされやすいものです。しかし、開発会社にとって、どうやって単体テストレベルを上げていくか試行錯誤することは、地道な作業ですが必ず続けていかなければいけないものなのです。

代表取締役 杉山 淳子

ソフトウェアテストセミナー

「コスト意識とテストへの決意」

先日「第2回ソフトウェアテストセミナー」に参加しました。その中で特に印象強かったのは『バグはリリース後に発覚すると、修正するのに、基本設計時やプログラム開発時の何百倍もコストがかかる』という内容です。リリースしてからのバグ発覚は、修正へのコストが多くかかるだけでなく、お客さまへ多くのご迷惑・損害を被らせてしまいます。絶対に避けなければいけません。最後の砦であるテストが、いかに大切なものと強く感じました。まだ経験の浅い2年目の私でも、完璧なテストを目指すべく、以下の2点は徹底しようと決意しました。

①疑問点を感じたらすぐに確認を行うこと

確認は「たぶん〜だろう」という、曖昧な点がなくなるまでSEの方に確認します。

②テスト結果や使用データは保存してテスト担当者(※)へ提出すること

自分が「このレベルまではテストをした」という証拠を残すために厳守します。

データを残すと、証拠としてだけでなく、後の確認作業やバグ修正でも利用することが出来ます。テスト担当者は、プログラム作成者の使用データを見て、プログラム作成者がやっていないテストパターンも見つけることが出来ます。プログラム作成者がバグを修正しなければならない場合も、以前使用したテストデータを基に新しいデータを作成できるので、その都度新規にデータを作成するより時間の短縮ができます。

以上の2点は当たり前の事ですが、効果的に単体テストを行うためには必須だと思います。

テスト担当者

弊社では、プロジェクトごとにテスト結果やテスト方法を管理する担当者を、必ず任命しています。

システムソリューション部 小口 笑

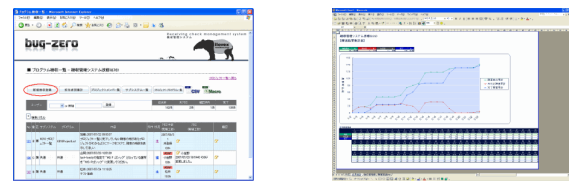
アイロベックスの品質の秘訣は、ここにあり！ 「検収管理システム bug-zero (バグゼロ)」

品質管理の中で大きな役割を果たすのが**検収管理**です。テストをすれば、バグ・勘違い・仕様変更など、様々な原因で検収事項が発見されるものです。それらをまとめて管理するのが**バグゼロ**です。テストをして、検収事項を発見したら、すぐに登録をする。これで検収事項の指摘漏れや、修正・確認漏れをなくします。

アイロベックスでは、見つけた検収事項は、**全てバグゼロで管理**し、常に確認を行っています。プロジェクト開発以外でもシステム保守の要望管理にも役立つソフトです。

世の中のバグを一掃するべく、無料配布しています。弊社ホームページよりダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.ilovex.co.jp/info/freesoft/kenshu.html>



それから、無料と言えば、

日報連動型プロジェクト管理ソフト **XziNet Manage**
 案件管理ソフト **XziNet Project**
 フォルダ権限閲覧ソフト **AD-Folder**

が、期間限定ですが、**無料**でご利用いただけます。

この機会に、是非ご利用下さい。

品質と効率の境界

「完璧なテストに近づける、押さえておきたいポイント」

○項目テストはやるかやらないかの違い

最大桁数や必須項目等の入力チェックは、手を動かすか動かさないかの違いだと思います。必ず一通り全てのイベントの発生を確認することが大切です。

○統一性にも気を配る

同じシステム内の機能は共通的な動きが同じになるようにチェックします。例えば、エラーメッセージの「～して下さい」「～してください」「～して下さい。」のような文言、初期表示時やエラー表示後のフォーカス位置など、システムとしてバラバラであれば統一するように指摘します。

○単体テストの時は、必ずユーザーになったつもりでテストを行う

これは第三者が行うからこそできることだと思います。その機能がいつどれくらいの頻度で使用されるかをSEに確認し、使用していて不快な気持ちにならないかどうかの確認もしっかりと行います。

○仕様について

その機能が何のために使われ、どのような動きをするのかを理解することから始めます。詳細設計書の記述を鵜呑みにせず、本当にその仕様書の内容・記述が正しいか常に自分で疑問を持つようにしています。そうしないと、正確なテストはできないと考えています。

○テストデータについて

他人の作成したデータ、重複するデータを使わないことも工夫の一つです。誰が使っているテストデータかをはっきりさせることで、テスト途中で値が変わってしまうことを防ぎます。また、備考欄や名称の項目を利用して、どのような条件の確認をするためのデータかを明白にしておくことで効率のよいデータ作成ができます。

○テスト結果を残す

バグの内容とバグが発生する手順やエラーの結果、どのデータを使用してテストしたかがわかるようにテスト結果を作成し、自分がしっかりテストを行ったという証拠を残します。証拠を残しておけば、プログラム修正時に原因を突き止めやすくすることもできます。時には該当箇所のログを抜き出しておきます。私自身は、仕様に基づいて、条件分岐、権限、ステータスの遷移等に着目しテストパターンを挙げ、テストパターンごとにテスト結果をまとめています。



項目	テスト項目	テスト結果	備考
機能A	機能A-1	合格	
	機能A-2	合格	
	機能A-3	合格	
	機能A-4	合格	
	機能A-5	合格	
	機能A-6	合格	
	機能A-7	合格	
	機能A-8	合格	
	機能A-9	合格	
	機能A-10	合格	
機能B	機能B-1	合格	
	機能B-2	合格	
	機能B-3	合格	
	機能B-4	合格	
	機能B-5	合格	
	機能B-6	合格	
	機能B-7	合格	
	機能B-8	合格	
	機能B-9	合格	
	機能B-10	合格	

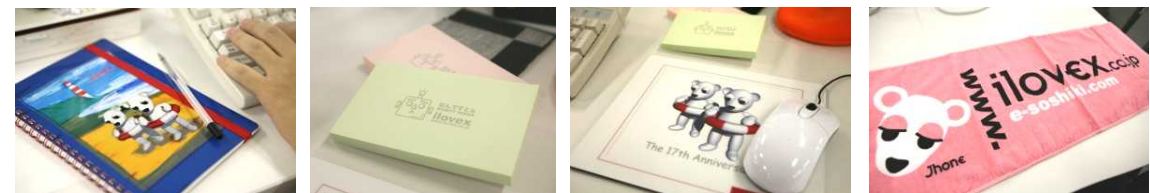
上表は社内で共通使用されているテスト結果報告の一部を抜粋したものです

システムソリューション部 松井 佳奈子

アイロベックス特製ノベルティ

プレゼント企画！！

3号にわたって掲載したキーワードクイズ、今月が最後のキーワードです！先月、先々月のキーワードは覚えておいででしょうか？3つをつなげればそう、あのキャラの名前ですね！！あの記念の時のあのノベルティもラインナップしています。各限定10個です。とてもレアですよ！



1. A5サイズリングノート

2. ポストイット

3. マウスパッド

4. タオル

赤いバンドがスタイリッシュ!! ロボット池田オリジナルVer.!! 1号2号初のノベルティグッズ!!

ピンクがステキなタオル!!



――期間――

2009年4月7日(火)～2009年4月30日(木)

――応募方法――

弊社HP(<http://www.ilovex.co.jp/>)へアクセス

HP右のリンク(*)をクリック

お問合せフォームの「お問い合わせ内容」に
①キーワードの答え ②ご希望のノベルティ名
以上をご記入の上ご応募下さい。

*ここをクリック



お答えいただきましたアンケートは、商品の抽選と今後の編集企画の参考としてのみ使用させていただきます。その他の目的では使用いたしません。

編集後記

今回はシステム開発にはかせない「テスト」、その中でも単体テストにフォーカスを当てました。アイロベックスには品質を守るためにバグを見つける技術と管理する場所がしっかりと揃っているのが見えてきますね。

プレゼント企画もぜひご応募ください。特にノートはお客さまから人気が高く、欲しいとリクエストの多いノベルティです。キーワードの答えですが、実は紙面に大ヒントがあります。

…なにやら当選率は高いらしいですよ？

ルーシー杉山の「愛ある」社長ブログ

http://blog.livedoor.jp/ilovex_sugiyama/

利益を大幅にアップさせるシステム設計の裏ワザ

<http://www.mag2.com/m/0000155977.html>

スイートピー則子

ジンジャー牧野

